

はたらく

創業女子会「セミナー&先輩起業家体験談」(全2回)

日10月17日・24日各月曜日午後1時～4時 場キャリア・mamホール(コロシア多摩センター5階) 対創業に興味・関心のある女性 定20人(申し込み先着順) 内自分にあった創業(週末起業・プチ起業など)を知り、必要な基礎知識を学ぶ 講師 堤香苗氏(キャリア・mam代表取締役)、久保ひかり氏[先輩起業家・(株)ラブレター] 申10月11日(火)までに、公式ホームページのインターネット手続きで、経済観光課 ☎(338)6867へ



多摩市「まちゼミ」勉強会(全2回)

「まちゼミ」とは、お店の店主やスタッフが講師となり、少人数制・無料で講義するゼミナールです。

日第1回=9月21日(水)①午前10時30分②午後7時30分、第2回=11月25日(金)③午前10時30分～正午④午後7時30分～9時 場①永山公民館②④関戸公民館③市民活動・交流センター 対第1回と第2回に参加できる市内事業者 定30人(申し込み先着順) 効

果的なまちゼミの手法を学ぶ 講師 松井洋一郎氏(岡崎まちゼミの会代表・内閣府地域活性化伝道師・経済産業省タウンプロデューサー) 備考 ①②は同内容。オンライン(Zoom)での参加も可。詳細は、公式ホームページ参照 申9月20日(火)までに、メールまたはファクシミリで、希望の時間帯、参加方法(会場・オンライン)、店名・団体名、氏名、連絡先(電話番号・メールアドレス)を記入し、「(有)もしも」内多摩コミュニティビジネス研究会 ☎cbtama.net@gmail.com、☎090(2724)8619、☎(337)1885へ

多摩市経営塾～マーケティング実践編～(全3回)

日①10月17日(月)②24日(月)③11月2日(水)、各午後6時30分～9時 場永山公民館 対事業経営者・個人事業主 定20人(申し込み先着順) ¥3,000円(全回分) 内①そもそもマーケティングって何?②販売促進の真実③仕組みとして整備する 講師 姫野裕基氏[(株)マネジメントブレン代表取締役・中小企業診断士] 申10月11日(火)までに、公式ホームページのインターネット手続きで、経済観光課 ☎(338)6867へ



多摩市 いきものギャラリー

©多摩市



このコーナーでは、市民の皆さんから投稿いただいた市内の動物や植物を紹介します。

環境政策課 ☎(338)6831、☎(338)6857



▲オナガ(令和4年6月撮影)



▲ニホンカナヘビ(令和4年6月撮影)



▲アオスジアゲハ(令和4年5月撮影)



▲フタリシズカ(令和4年5月撮影)

皆さんの投稿をお待ちしています!

市内の動植物の写真を募集中。公式ホームページでは、これまで投稿された写真を見ることができます。

多摩市いきもの季節観測

9月～10月ごろの対象種：アキアカネ、キンモクセイなど



多摩川野鳥
ギャラリー



多摩の自然
ギャラリー



YouTube
多摩市公式チャンネル

ここがづらい方へ
東京いのちの電話にご連絡ください
年中無休・24時間 ☎03(3264)4343

Let's 健幸まちづくり! Vol.3

健幸まちづくり推進室 ☎(338)6916



▲健幸まちづくりについて詳細はこちら



健幸まちづくりは、「健幸都市・多摩」の実現に向けて、行政だけでなく、市民・NPO・団体・事業者・大学などがともに進める、まちぐるみのチャレンジです。シリーズ「Let's健幸まちづくり!」では、さまざまな場所で進む健幸まちづくりの取り組みをお届けします。今回は、子どもたちの水辺での活動をサポートする「多摩市水辺の楽校」の西さんと相田さんにお話をお聞きしました。

「多摩市水辺の楽校」は、行政と複数の環境ボランティア団体のメンバーが連携して平成22年に発足しました。多摩川・大栗川・乞田川を活動場所として、清掃活動や水質調査・子どもたちの体験活動などを実施しています。毎年、カヌー体験や多摩川源流でのサマーキャンプも行っていましたが、コロナ禍で活動を縮小し、今は身近な川辺を活用した小学校の自然観察の授業を中心に活動しているそうです。

待ちに待った「ガサガサ体験」

ライフジャケットをつけた子どもたちが、待ちきれないといった様子で大栗川に入っていきます。水辺活動の注意点を聞き、さっそくガサガサ開始。ヨシの根元に網を差し込んで足でガサガサ…。あちこちで「とれた!」と歓声が上がります。小さな魚や透き通ったエビやヤゴなどが次々と網にかかります。はじめはこわごと歩いてきた子どもたちもす

ぐに夢中になり、もう誰も濡れることなんて気にしていません。



▲ガサガサの様子

集めた生き物は水槽で観察した後、名残惜しそうに子どもたちが見つめる中、川に戻しました。



▲子どもたちに囲まれる相田さん

「大栗川にこんないろいろな生き物があると思わなかった」「水が思ったより冷たかった」など、実

際に川に入ることでたくさんの気付きがあったようです。

活動のきっかけと想い

(西さん)「退職してから何かしたいな、と思ってボランティアを始めて、もう25年以上続けています。自然が好きで、いろんなボランティアをやっています。家でじっとしてる暇なんてないですよ」
—コロナ禍で活動が縮小する中でも、小学校の体験授業は続けてきたそうです。

(相田さん)「子どもたちにもっと自然のことを知ってほしいです。昔は自然を知ることは、生きるための糧でした。今は最初からすべて揃っているから、自然が自分たちの生活とどう繋がっているのか考える機会がない。実際に川に入って体験することで、自然と人のつながりについて考えるきっかけを作りたいです。最近川辺を歩く人や、川辺で遊ぶ親子の姿をよく

見かけます。身近な自然に目を向ける機会が増えているのを見ると、コロナ禍も悪いことばかりじゃないのかなって思いますね」

自分の関心のあることを通じて地域に楽しいことやつながりを増やす活動は、市民の皆さんによる「健幸まちづくり」です!

多摩市水辺の楽校の活動に参加してみませんか? スタッフ・サポーターも随時募集中です。詳細は、公式ホームページをご覧ください。



▲相田さん(左)と西さん(右)

